

公益社団法人長崎県看護協会保健師職能委員会 保健師職能交流集会

テーマ 「どこにおっても保健師やっけんね」 ～地域包括ケアシステムの核となる保健師の役割・機能とは？～

目的

地域包括ケアシステムの推進について、保健師には積極的に地域の関係者とのネットワークを構築していくとともに、地域の特性にあわせたサービスを提供していくことが求められている。この状況下で長崎で活動する保健師は、活動領域の拡大と分散配置化等により、個々で悩みを抱えることが多くなっている。今回は、地域包括ケアをテーマに、現状と今後の取り組みについて情報交換するとともに、活動領域を超えてともに語り合い、交流をとおして、今後のネットワーク強化を図る。

開催日時 平成29年1月14日（土） 10:00～15:00

場 所 ながさき看護センター

内 容 9:30～ 受付開始

10:00 開会
会長挨拶

10:05 保健師職能委員会活動について報告

① 本協会が平成27年12月から平成28年1月に保健師対象に実施した『保健師の看護協会に対する意識及びニーズに関する調査』の結果から見えてきた、長崎での課題についての報告。

② 日本看護協会保健師職能委員会の活動報告。

10:20 地域包括ケアシステム構築のための保健師活動
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻
医学部保健学科看護学専攻 准教授 中尾理恵子先生
長崎市における取り組みについて
長崎市地域包括支援センター職員

地域包括ケアは高齢者対策に主眼が置かれているが、本来は子育て、障害、介護、貧困等地域課題をどう解決していくか考えるべきものである。
この課題について、長崎市では、先駆的に「多機関型包括支援体制構築モデル事業」（世代の壁を取ったワンストップ窓口の設置など）取り組みを開始している。

12:00 ランチミーティング

（裏面に午後からのプログラム内容を記載しています！）

13:00 グループワーク

①地域での保健師活動について

(母子保健、精神保健、高齢者支援など行政保健師から
医療、福祉分野などで働くすべての保健師対象)

地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域の課題を明らかにし、関係機関、住民とともに活動展開を図っているものの、思うような成果があがらないと悩む声も・・・

保健師として

地域を見る目を持っているのだろうか？・・・

地域の健康課題に気づくことができているのだろうか？・・・

課題をどう解決していけばいいのだろうか？・・・

日々悩みを抱えながら保健師活動を行っていると思います。

☆地域包括支援センターに働く保健師さん集まりましょう！

同じ職場で働く保健師同士の交流を通して、保健師間のネットワークを構築しましょう！

今回の交流集会を、日々の保健師活動を振り返り、悩みを見つめ直すきっかけにしてみませんか？

②ストレスチェックについて（産業保健師等対象）

ストレスチェックの集団分析結果を使って、職場づくりに取り組んでみよう！

職場介入は、保健師の醍醐味です。すでに取り組んでいる事業所の活動を聴いて、皆でそのコツと知恵をディスカッションしましょう！

14:45 総評

15:00 終了

病院勤務をされている保健師さんは、よかったら交流会終了後に少し情報交換をしたいと思います。ぜひご参加ください！

対象 県内の保健師（会員、非会員問わず）、その他長崎県看護協会会員

参加料 会 員： 500円（昼食代）

非会員：1,000円（参加費500円＋昼食代500円）

参加申し込みは、別添参加申込書にて平成29年1月10日（火）まで

（参加料は、当日受付で徴収します）



別紙

平成28年度 保健師職能交流会 参加申込書

長崎県看護協会保健師職能委員会担当 宛て

施設名

申込代表者

連絡先（電話）

No	氏名	所属・職名	参加希望欄に○を記入ください					会員・非会員 (どちらかに○)
			午前	ランチ ミーティ ング	午後		病院保健 師集い	
					分科会①	分科会②		
1							会員・非会員	
2							会員・非会員	
3							会員・非会員	
4							会員・非会員	
5							会員・非会員	

申込期限 : 平成29年1月10日(火)

申込先 : 長崎県看護協会事務局(保健師職能委員会)まで

FAX : 0957-49-8056